

2023年度事業計画

3月13日の理事会において2023年度事業計画が承認されました。

1. 航空に係る利用運送事業等の健全な発達を図るための調査研究及び指導

- 国内主要空港に係る情報収集、並びに、関係諸機関との意見交換や会員への周知活動
- 業務デジタル化など物流DXに対応するための情報収集や、課題解決に向けた取組み
- 持続可能な航空貨物事業を目指すSDGsに係る研究と取組み

2. 航空に係る利用運送事業等に関する安全性の向上を図るための調査研究及び指導

- KS/RA制度の見直し等、航空保安対策基準の改正に係る国土交通省への意見具申
- 認定航空保安教育訓練支援機関として実施する教育訓練の充実
- 荷主に対する航空保安に係る啓蒙活動の推進
- IATA認定CBTAプロバイダーとして実施する航空危険物教育訓練を会員及び荷主に広く提供し、航空輸送の安全確保に貢献
- 航空危険物輸送に係る会員及び荷主への啓蒙活動の推進
- 無申告危険物搭載防止キャンペーン等による搭載事案撲滅の取組み

3. 航空に係る利用運送事業等に関する職業教育、研修会、講演会等の実施

- 会員の事業活動に貢献する重要案件に係るセミナー等の企画開催
- 教育研修、講習会、セミナー等におけるWEBツールの積極的な活用
- IATAディプロマ試験の合格率向上を目指した教育体制の充実
- 国際・国内航空貨物基礎講習会に係る講義内容と講習運営の向上
- 国際航空貨物航空会社委員会(BIAC)と共催する成田空港地区貨物施設見学会等を通じた、荷主に対する啓蒙活動の推進
- 通関業務に係る法令遵守や密輸防止に関する講習会の開催

4. 航空に係る利用運送事業等における通関に関する調査研究

- 関係省庁と連携し通関業務の円滑化に向けた情報収集と意見具申
- 更改NACCSの円滑な運営に繋がる情報収集及び関係機関との連携
- 通関士の地位向上等の取組みにより人材を確保し業界の発展に貢献
- 通関関連の法令遵守に係る会員及び荷主への啓蒙活動

5. 航空に係る利用運送事業等に関する広報、宣伝、苦情の解決

- 会員の人材確保に貢献する航空貨物業界の魅力を発信
- 協会ホームページの充実とSNS等の活用による発信力の強化
- JAFANAニュースの定期刊行と内容充実
- 荷主や関係団体等に対する情報発

信や広報活動の推進

6. 航空に係る利用運送事業等に関する国際会議等への出席及び開催

- 国際・国内航空貨物等の取扱実績の集約と情報提供
- IATA(International Air Transport Association)との連携強化、並びにIATAが主催する国際会議への参加による情報収集
- FIATA(International Federation of Freight Forwarders Association)が主催する国際会議への参加、情報収集、並びに会員への情報提供
- FAPAA(Federation of Asia Pacific Air cargo Association)が主催する会議への参加、情報収集、並びに会員への情報提供

7. 航空に係る利用運送事業等に関する関係官庁その他関係機関及び関係諸団体に対する意見の開陳、連絡及び協力

- 関係省庁との情報交換、意見具申等による連携強化
- 国際航空貨物航空会社委員会(BIAC)との連携及び共同事業の実施
- 主要空港の拡張・機能強化に伴い発生する諸課題について、関係省庁及び関係機関との連携・協議

8. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

- 適正コストと体制に基づいた円滑・効率的な協会運営の継続・実施
- 協会事務局の事務効率化を目的とするデジタル化の推進
- 各種規程類等の見直し・改訂

2023年 IATA トレーニング機関、ATC プレミアに認定

今般、2022年1月～12月までの受験者数と合格率等が評価され、2023年の認定トレーニングセンター(ATC = Authorized Training Center) プレミアを獲得しました。プレミア認定を受けたATCは世界に6団体のみです。



危険物コースにつきましては、2023年3月からCBTAプロバイダーとして実施する教育訓練に移行しました。

当協会は、IATA認定「ATCプレミア」と「CBTAプロバイダー」として、IATAディプロマ資格の取得に係る教育訓練を実施し、引き続き会員会社の教育訓練を支援してまいります。(国際教育委員会)

IATA 認定航空危険物教育訓練の開始について

2023年3月8日より、IATA認定のCBTAプロバイダーとして航空危険物取扱い教育訓練を開始いたしました。今年からは、従来の試験対策講習会とは異なった、より業務に即した実践的な講習会となるよう新たなカリキュラムを設け、7.1と7.3コースにつきましては、東京・大阪地区で対面式の講習会と筆記試験、7.2につきましては、オンライン講習会とe-learningを利用したオンライン試験を実施し、右表のとおり結果となりました。



今回、講習会で使用する教材も全て刷新し、7.1・7.3講習会参加者は自学習を行った上で参加いただきました。また7.1コースには、荷主様にも参加いただきました。

今後は原則奇数月に開催を計画しておりますので、是非会員様従業員の多くの方にご参加いただき、また航空危険物を取扱う荷主様にも是非ご紹介いただき、航空危険物取扱いの資格取得を推奨いたしますようよろしくお願いいたします。

詳細につきましては、当協会HPまたはメール(kyoiku@jajfa.or.jp)にてお問合せください。(国際教育委員会)

コース	受講者数	内、東京地区	大阪地区	合格率
7.1	6名	4名	2名	88.3%
7.2	5名	オンライン講習		100%
7.3	30名	14名	16名	100%



※ IATA 認定の危険物取扱い資格取得が可能なコース

Dangerous Goods Regulations training course	
Dangerous Goods Regulations training course for well-defined job functions in accordance with IATA DGR "Dangerous Goods Training Guidance": IATA DGR "DG Training Guidance" に従った職務のための危険物規則トレーニングコース	
	具体的な職務
7.1	Personnel preparing dangerous goods consignments. 危険物貨物を分類・準備する従業員
7.2	Personnel responsible for processing and accepting goods presented as general cargo. 一般貨物として提示された貨物の処理と受入れを担当する従業員
7.3	Personnel responsible for processing or accepting dangerous goods. 危険物貨物の受託を担当する従業員

2023年1月セッション・IATA 認定国際航空貨物・基礎コース (Cargo Introductory Course) 合格者数について

2023年1月22日～2月1日に行われました【2023年1月IATA認定試験・基礎コース結果】

IATA認定基礎コースの結果をご案内いたします。尚、2023年1月からは、基礎コースのみオンライン試験となっております。(国際教育委員会)

2023年1月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注1)	90点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格率	欠席 (No show)
基礎コース	151	121	80.1%	35	28.9%	11
合計	151	121	80.1%			11

※ 2023年1月は、当協会の賛助会員の学生様も数多く受験しております。

2023年3月18日～3月21日 FIATA HQ MEETING 開催

2023年FIATA本部会議が、FIATA本部都市であるスイス・ジュネーブのCICG（ジュネーブ国際会議センター）で開催されました。FIATA本部会議は例年3月に開催されますが、コロナ禍の影響により対面での本部会議は2019年3月の開催から4年ぶりの開催となり、約60か国からFIATA会員および他のセクターからのオブザーバーや多くの機関参加者など合計190名以上が参加しました。

当協会も同様に4年ぶりに対面での国際会議参加となり、国際交流委員が代表として出席しました。

今回の本部会議のテーマは「不確実性をナビゲート」で、パンデミックや世界の経済への悪影響など様々な状況下、脱炭素化・輸送回廊・複合一貫輸送・ドライバー不足の問題など様々な課題を中心に複合輸送委員会（MTI）、税関関係委員会（CAI）、法律問題諮問委員会（ABLM）、安全保障諮問委員会（ABSS）、航空貨物委員会（AFI）、アジア・太平洋地域（RAP）会合、情報技術諮問委員会（ABIT）、FIATA ロジスティクス委員会（FLI）、および国際関係諮問委員会（ABIA）など様々な会議がワークショップ形式で開催されました。参加者全員が小グループに分かれての討議や会議中に携帯アプリを使いアンケートを実施し参加者の回答状況をリアルタイムで確認しながらの討議など、主催者と参加者が双方向で各国の課題などを情報共有できるような工夫がなされた会議となりました。

当協会に関連する航空貨物分野を扱う航空輸送委員会＝AFI（Airfreight Institute）及びアジア・太平洋地域会合＝RAP（Region Asia Pacific）Sessionsの様子は以下のとおりです。

●航空輸送委員会＝AFI（Airfreight Institute）

●EU ICS-2リリースに関してAFI代表者が委員会に参加しました。貨物運送業者向けに税関関係委員会（CAI）および安全保障諮問委員会（ABSS）と共同でICS2ガイドラインを開発しリリースしました。またFIATAは貨物運送業

者の声が届くようPLACI（事前貨物情報システム）に関してIATAに協力し、EU ICS2における多数の規則と責任に関する共同ガイダンスを作成すると報告されました。

●すべての地域を対象としたグローバル航空貨物プログラムの開発として、FIATAの取り組みが報告されました。その中で、FAPPA 議長の Paul Gollad からアジア太平洋地域ではまだ単一の航空貨物プログラム導入が認められておらず、非常に多くの異なる規制に準拠しなければならない状況にあるが、導入に向けた交渉は行き詰まっていると述べられました。またCASSについてはアジア太平洋地域と他の地域ではルールが異なっており、アジア太平洋地域のほとんどはIATA担保と銀行保証に悩まされているなど、他の地域と格差ある事などが報告され、FIATA議長国のサポートへの期待が述べられました。

●アジア・太平洋地域会合＝RAP（Region Asia Pacific）Sessions

●次回ベトナム・ダナン市で2023年7月13日-15日に開催されるFIATA RAP Meeting について紹介がありました。

●FIATA マルチモーダル船荷証券（FBL）の電子化と安全、及び賠償責任保険の要件などについてFIATAガイダンスが発行されたと報告されました。

●航空貨物グローバルプログラムについては、IATA世界貨物シンポジウムでのIATA/FIATAリーダーシップを合意しました。すべての地域に利益をもたらすグローバルプログラムに向けて引き続き取り組んでいくと報告されました。

●EU ICS2 リリースIIにおけるEUメンバーの進捗状況が報告されました。対象国30か国中13か国が適合テスト100%完了。5か国が一部完了。12か国が準備出来ていない状況です。

●EU ICS2 リリースIIIは2024年3月1日に開始され、すべての輸送サービス（海運・鉄道・トラックなど）に対してENSデータをICS2に提出する必要があると報告されました。

（国際交流委員会）



業界研究セミナーで学生に航空貨物業界をアピール

2023年2月3日、日本物流団体連合会(物流連)主催の物流業界研究セミナーに国際フレイトフォワーダーズ協会(JIFFA)と共同で参加しました。セミナーには38の物流企業と業界団体が参加し、各々のブースで物流業界の魅力をアピールしました。JIFFA/JAF Aでは、前半は航空フォワーディング事業の概要を説明し、後半は会員4社にご協力いただき海外勤務についてのパネルディスカッションを開催しました。パネルディスカッションには、NRS、OCS、近鉄エクスプレスの海外駐在員が海外からリモートで、ロジスティードエクスプレスの海外駐研修経験者が会場で座談会に参加し、学生さんの質問に応え海外で国際物流に取り組む遣り甲斐や楽しさを伝えました。協会では厳しさを増す人材確保の一助となるよう航空貨物業界の魅力発信に努めてまいります。



委員会等活動報告

1月	11日	国際教育委員会	2023年度 IATA ディプロマに関する説明会開催
	13日	JAF A-BIAC 共同研究会	賀詞交歓会開催
	19日	広報委員会	JAF A ニュース 125号(新年号)最終編集会議と2023年度の活動方針について
	23日	政策委員会	JAF A セミナー振り返り、予算編成会議の報告、2023年度予算・事業計画の基本方針の確認、活動予定の確認
	23日	国際交流委員会	2023年度活動計画について、FIATA HQ Meeting への参加について
	24日	国際宅配便業務委員会	梱包強化について
	25日	保安委員会	第48回(東京)、第49回(福岡)航空保安教育訓練を実施
	26日	JAF A-BIAC 共同研究会	危険品規則書改定説明会開催
	26日	国際業務委員会	2023年度活動計画案について、CBTA(危険物教育訓練)について
	30日	国際教育委員会	IATA ディプロマ資格試験・2023年度国際航空貨物基礎講習会開催について
	31日	広報委員会	JAF A ニュース 125号(新年号)発行
	31日	空港対策委員会	HP 会員ページに『国内主要空港の最新情報』掲載開始
	2月	10日	国内業務・教育委員会
14~16日		国際教育委員会	IATA ディプロマ認定試験、事前講習会開催(東京・大阪)
15日		空港対策委員会	HP 会員ページ『国内主要空港の最新情報』更新
15日		国内業務・教育委員会	2023年度活動方針、基礎講習会、危険物講習会実施要領 他
24日		保安委員会	航空局監査結果報告、BIAC からの調査要件 他
27日		広報委員会	JAF A ニュース 126号(春号)編集会議、記者懇談会打ち合わせ
28日		空港対策委員会	HP 会員ページ『国内主要空港の最新情報』更新
3月	1~31日	国内業務・教育委員会	JAL/ANA と連携して無申告危険物搭載防止キャンペーンを実施
	2日	政策委員会	2023年度予算(案)及び事業計画(案)の承認と次回 JAF A セミナーについて、他
	2日	政策委員会	国土交通省総合政策局との意見交換会「持続可能な物流の実現に向けて」
	3日	通関業務・情報(合同)委員会	国際航空貨物基礎講習会、2023年度予算・事業計画・活動方針、関税局との意見交換会、他について
	6日	国際交流委員会	FIATA HQ Meeting 参加について
	7~9日	国際教育委員会	IATA 認定航空危険物講習会(CBTA)7.1 コース開催(東京・大阪地区)
	10日	国際教育委員会	IATA 認定航空危険物講習会(CBTA)7.2 コース開催(オンライン開催)
	14~16日	国際教育委員会	IATA 認定航空危険物講習会(CBTA)7.3 コース開催(東京・大阪地区)
	17日	国内業務・教育委員会	2023年度国内航空貨物基礎講習会、CBTA7.2 コースの活用、動画教材制作の進捗 他
	18~21日	国際交流委員会	FIATA HQ Meeting への参加(スイス・ジュネーブ) / 委員1名、事務局1名
	20日	空港対策委員会	HP 会員ページ『国内主要空港の最新情報』更新
	22日	国際宅配便業務委員会	梱包強化について、2023年度活動計画について
	28日	保安委員会	CSD に関する航空局への相談のフィードバック、航空局航空保安対策室「KS/RA 制度見直しの現状」について
30日	JAF A-BIAC 共同研究会	危険品実務講習会について	